

令和4年3月14日  
国土交通省  
三陸国道事務所

やまだ みやこ  
国道45号 山田宮古地区防災技術検討会の結果について  
～安定的な道路交通を確保するための対策方針が決定～

みやこ  
宮古市の国道45号には、平成28年台風10号や令和元年台風19号で冠水による通行止めが発生する等、幹線道路機能として課題がある区間が存在します。

やまだ みやこ  
そのため、課題解消に向け有識者による「国道45号 山田宮古地区防災技術検討会※1」において対策案を検討し、以下のとおりとりまとめましたのでお知らせいたします。

【主な議論内容】

- 国道45号の課題を解消し、安定的な道路交通を確保するために、現道対策（かさ上げ）を行うには、沿道企業や店舗、日常交通へ与える影響が大きいため、三陸沿岸道路を活用する対策（山田北ICに北方向の乗り降りの追加整備）が妥当と判断。
- 三陸沿岸道路を活用する対策により、冠水による通行止めが発生した場合でも、三陸沿岸道路を利用し山田町豊間根地区や宮古市津軽石地区と宮古市街地のアクセスが可能となるなど、災害時の道路ネットワーク機能が確保される。

※1 「国道45号山田宮古地区防災技術検討会」

■委員（有識者）  
みなみ まさあき 南 正昭 岩手大学理工学部 教授  
うさみ せいじ 宇佐美 誠史 岩手県立大学総合政策学部 准教授

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議形式を中止し、各委員に対し事務局にて個別説明、書面での審議を実施

《発表記者会》

岩手県政記者クラブ、東北専門記者会、宮古記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

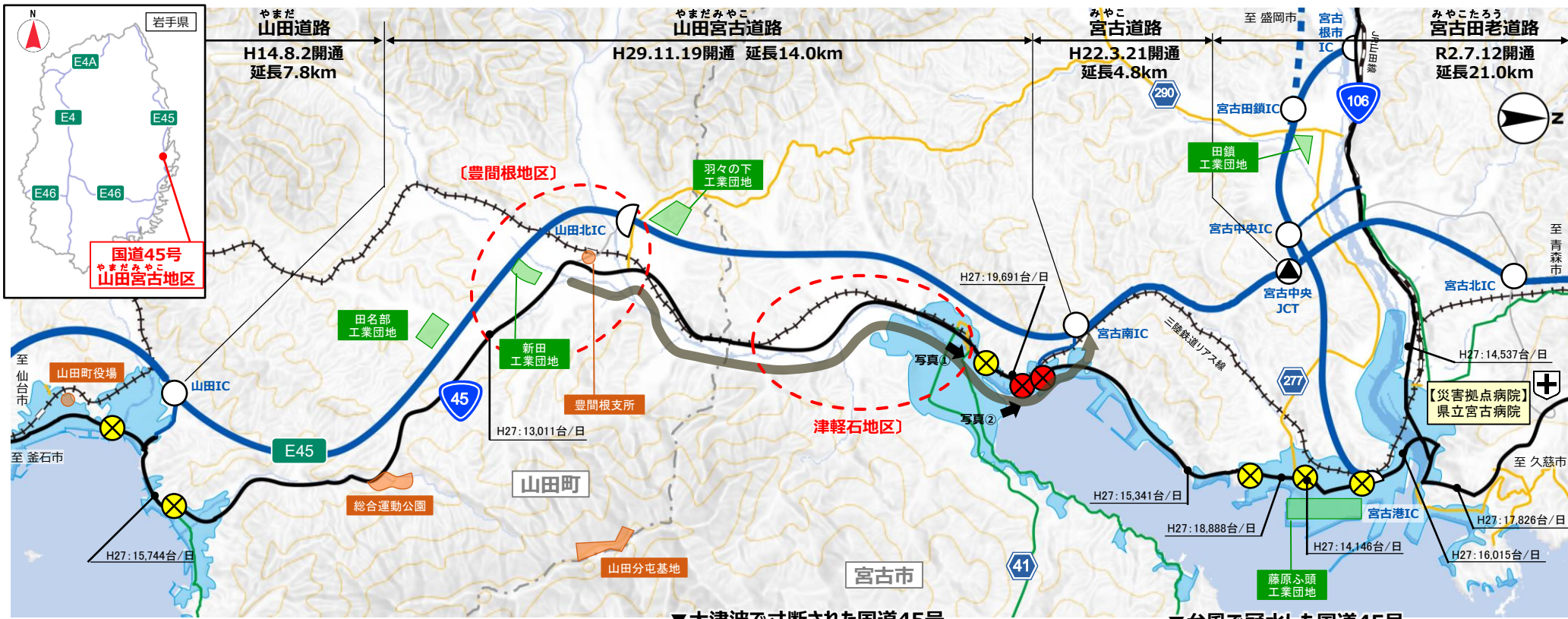
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 電話 0193-62-1711（代表）

副 所 長 ば ば ひろゆき 馬場 裕之 （内線204）

調 査 課 長 いしそね あきら 石曾根 晃 （内線451）

# やまだみやこ 国道45号 山田宮古地区 検討対象地域 位置図

- 国道45号は東日本大震災後に復旧したものの、平成28年台風10号で約2時間、令和元年台風19号で約6時間冠水による通行止めが発生。
- 通行止め時は、宮古市津軽石地区や山田町豊間根地区の企業活動(通勤含む)や救急搬送において北方面とのアクセスに課題。



▼大津波で寸断された国道45号

▼台風で冠水した国道45号

凡例			
	高速道路		J R線以外
	一般国道		J R線
	主要地方道		津波による通行止め・H23.3
	一般都道府県道		台風による通行止め・H28.8 R1.10
	その他道路		
	東日本大震災による津波浸水区域	H27: 〇〇台/日	H27時点: 24時間観測交通量 ※H27全国道路・街路交通情勢調査
	防災拠点		
	工業団地		



# 対策方針の概要

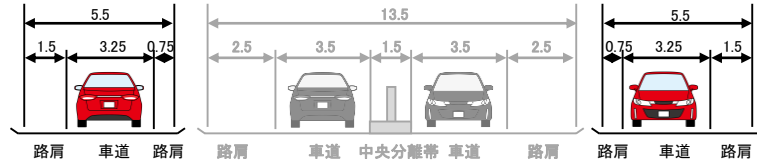
## 位置図



## 対策方針の計画概要

<区 間> いわて しもへい やまだまち いしとうげ 地内  
 <延 長> 0.4km  
 <構造規格等> 第1種道路・B規格 (W=5.5m)

【標準断面図】 [m]



## 対策内容(イメージ)

